

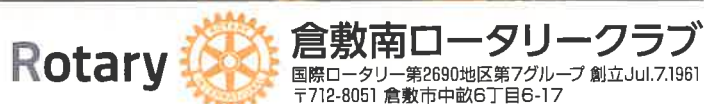


2024-2025年度 国際ロータリーのテーマ

ロータリーのマジック

THE MAGIC OF ROTARY

写真提供: 山本真穂会員



国際ロータリー第2690地区第7グループ 創立Jul.7.1961
〒712-8051 倉敷市中畝6丁目6-17

第 3000 例会 R. Song 「我等の生業」 天候：晴れ No.3000/2025. 5. 23

Guest なし Visitor 松原 龍之 様 (岡山西南)、第 7 グループガバナー補佐

山田 暁 様 (倉敷東)、次期ガバナー補佐 岡本 研作 様 (倉敷)

出席 会員数 62 名 (うち出席規定免除者 15 名① 1 名⑤ 14 名)

5/23 の出席率 67. 31% (出席者 35 名、内⑤ 5 名)

欠席 馬場、井上、亀岡、栗元、三宅(典)、三宅(繁)、中川、沼本、大段、佐藤、

滝川、渡辺(英)、山本(英)、山本(真)、柳沢、下山、伊藤、各会員 (17 名)

●和田一朗会長

- ・本日は本クラブの 3,000 回目の例会であり、本当に喜ばしいことです。昭和 36 年に発足して 3,000 回を迎える時に会長を仰せつかっており、本当に皆様のご協力のおかげと思っております。記念行事も検討しましたが、ロータリーの趣旨を重んじて、皆様から寄付を募り、ロータリーの年次基金に寄付をおこなうことで、3,000 回の記念行事とすることにしましたので、ご理解、ご協力をお願いします。
- ・山田第 7 グループガバナー補佐様よりご挨拶：本日 4 回目の訪問。ここ数年でロータリーが大きく変わっている。奉仕をするという事は変わりませんが、組織の在り方が変わってきていて多様性を感じます。I.M の御参加有難うございました。
- ・次期ガバナー補佐岡本研作様よりご挨拶：私は人に厳しく自分に優しいをモットーにしています (笑)。来年 1 年間、何卒よろしく願いいたします。
- ・<会長の時間> 3,000 回記念として 2 点、皆様にスマイル券での寄付をお願いし、また、例会の最後に記念撮影をおこないます。食事のデザートに、ちょっとした 3,000 回の飾りつけをしておりますのでお楽しみください。

●幹事報告 (青井幹事)：3 月のロータリーカードの実績について、他報告 9 件

- クラブ行動計画推進チーム (奥山リーダー、石田副リーダー)：3 か年計画の作成中です。その準備のためアンケートを配布しておりますので、6/13 例会までにご提出ください。アンケート結果を踏まえて、3 か年計画に反映していきます。

●スマイル報告（横道副 S. A. A）※紙面の都合上、内容を一部割愛しております。

- ・山田ガバナー補佐、岡本次期ガバナー補佐、松原様、高田会員：通算 3,000 回例会おめでとうございます。記念すべき例会に出席いたしました。
- ・和田会長、浅見会長エレクト、横道副 S.A.A、青井幹事、廣本、桐野、野口、各会員：ガバナー補佐山田様、次期ガバナー補佐岡本様のご来訪を心より歓迎して。
- ・和田会長、浅見会長エレクト、横道副 S.A.A、青井幹事、石田会員：岡山西南 RC の松原龍之さんご出席いただき有難うございます。

●プログラム卓話

1、65 周年実行委員会（桐野実行委員長）：コンセプトを「10 年後に記憶で語るより記録で残そう！！」としております。資料 2 枚で「創立 65 周年記念行事委員会組織」をお示ししております。次年度のクラブ組織に準じて委員会を構成しております。全員参加の運営でおこない、クラブ会員と OBOG もご参加いただきます。各委員会の準備は 9 月中での完了を考えております。よろしくお願いいたします。

2、次年度に向けて：

A.浅見会長エレクト：①65 周年記念は、記念誌制作を中心に進める方針です。11/1 に式典を 17 時から、懇親会を 18 時から開催し、OBOG にも御参加いただきます。懇親会でのアトラクションも検討していきます。②記念事業として、例えば、水島図書館にあるロータリー文庫の有効活用を考える等、何か検討していきたい。

③地区補助金事業は倉敷アブレイズのバレーボール大会、8/11 笠岡総合体育館。

B.横道次期幹事・石本次期職業奉仕委員長：5/18 に米子で開催されたクラブ活性化ワークショップに参加しました。①松本パストガバナーから 2025 年の規定審議会の報告がありました。3 年に 1 度 RI にて開催され、新规定の詳細情報は 11 月頃にマイロータリーに掲載されます。主なところは、新クラブは 15 名で創設できる（20 名から減）こと、人頭負担金が年度を追って増額されること、等が決定されています。②クラブ活性化ワークショップの基調講演は 2 つありました。

＜佐藤・直前国際ロータリー理事＞インパクトのある奉仕活動というのは「ロータリー活動を通じた奉仕活動の結果が、世の中や地域にインパクトをもたらす」「そのような奉仕活動をおこなうためには、ロータリアンが奉仕活動を楽しむことが重要である」会員増強を例に、現会員が楽しく活動していないクラブでは新会員の入会は望めない。奉仕活動は、継続しておこなえる活動であることも重要である。グローロータリー＝もっと元気なクラブになろう、とのお話もあった。

＜若林・第 2 エリア会員増強コーディネーター＞会員増強の具体策をお話いただく。「戦略的オープン例会」「クラブ独自の会員種別の設定」「衛星クラブを作る」等、大変参考になる実践的事例の紹介がありました。●3,000 回例会の記念撮影

例会プログラム予定：5 月 30 日（金）ゲスト卓話 青少年奉仕月間に因んで

木口 瑠音様 / 6 月 6 日（金）卓話 イニシエーションスピーチ 河原健志 様